

美原区



黒姫山古墳

美原区は、飛鳥時代の難波宮と飛鳥京を結ぶ日本最古の官道といわれる竹内街道に北端を接し、日本書紀に黒山の地名が見られるように、大和朝廷の時代から、和泉（堺）と大和（奈良）を結ぶ交通の要衝として、繁栄してきました。

中世・鎌倉時代には、河内鑄物師と呼ばれる鑄造技術者集団が、東大寺再興や鎌倉大仏の鑄造などで活躍し、今なお全国の鑄物師発祥の地として伝えられています。

明治初年、廃藩置県により堺県に属し、堺県の廃止に伴い大阪府に属し、明治 22 年の町村制によって、黒山村、平尾村、丹南村、南八下村、丹比村に編成されました。その後、地勢・産業・風俗・文化の各分野で共通している黒山村、平尾村、丹南村が、昭和 31 年 9 月に町村合併促進法に基づいて合併し、「美原町」が誕生しました。

昭和 32 年 4 月に美原町丹南が松原市へ、南大阪町（現羽曳野市）多治井が美原町へとそれぞれ変遷があり、続いて、昭和 33 年 7 月に南八下村の大饗、小寺、菩提が美原町に編入し、現在の美原区域が形成されました。

その後、平成 17 年 2 月に合併により美原町は堺市に編入されました。そして平成 18 年 4 月に堺市の政令指定都市移行に伴い美原区となり、現在に至っています。

美原区は、市域の東部に位置し、北は松原市、南は大阪狭山市、東は羽曳野市と富田林市に接しています。

区内には、狭山池を水源とする東除川、西除川の両河川が南北に流れており、これらの河川に沿って農耕地が開け、南東から北西に向けてなだらかに傾斜する比較的平坦な地形となっています。

美原区役所

〒587-8585

堺市美原区黒山 167 番地 1

（企画総務課）

Tel 072-363-9311

Fax 072-362-7532

初芝駅からバス約 25 分

新金岡駅からバス約 30 分

（南海バス停 美原区役所前）

河内松原駅からバス約 25 分

（近鉄バス停 美原区役所前・美原区役所東口）

構造：RC

（地下 1 F・地上 6 F）

敷地面積：8,815.28 m²

建築面積：3,096.20 m²

延床面積：9,446.77 m²

（区役所 3,384.28 m²）

（文化会館 6,062.49 m²）

駐車場：来庁者用 139 台

公用 15 台



面積 13.20 km²

人口 36,816 人

世帯数 15,104 世帯

（令和 5 年 4 月 1 日現在）





区域の特色・資源

●豊かな歴史・文化と田園風景のあるまち

美原区の歴史は古く、24領の鉄製甲冑が出土した黒姫山古墳をはじめ、中世の鑄造技術者集団「河内鑄物師」のふるさととしても知られています。また、農村地帯を基調にした地域として、今なお都市圏に珍しい田園や集落、里山が残っており、菅生地区における植木生産をはじめ、まちの緑化に貢献しています。



●子どもが健やかに育ち、人と人のつながりがあるまち

美原区には、黒山、平尾、美原北、八上、美原西、さつき野の6つの小学校区があります。校区ごとに、青少年健全育成やスポーツ振興、防犯、交通安全、美化活動、自主防災組織活動など、多岐にわたる住民自治活動が取り組まれています。特に青色防犯パトロール隊、子どもの安全見まもり隊、子ども110番の家、青少年犯罪防止パトロールなどは、PTAや自治会、各種団体、ボランティアグループなどが中心となって盛んに活動しています。また、美原区では、他区にない消防団が、活発に活動しています。

美原区の魅力あるまちづくり

■美原都市拠点の整備

美原都市拠点では、南河内地域や奈良県中心部との結節点としての役割を果たすのにふさわしい機能向上が図られ、美原区域の中心核として、市民主体のまちづくりが進められています。また、防災に関する中核拠点施設として堺市総合防災センターを整備し、地域総合防災力の向上を図るとともに、大規模災害に対する緊急の対応や災害対応力の向上を推進します。

■田園風景と農業のあるまちづくり

美原区には、田畑をはじめとする緑地空間などが多く残っています。これらを背景に、地産地消をテーマとして区民自らが立ち上げた「美原朝市」や、「美原の古代米」を区の魅力のひとつとして育てる「古代米プロジェクト」など、美原区の農業を伝える活動が積極的に取り組まれています。

今後も、区域の特色・資源を生かしながら自然環境と調和のとれた都市機能を持つまちづくりをめざします。

